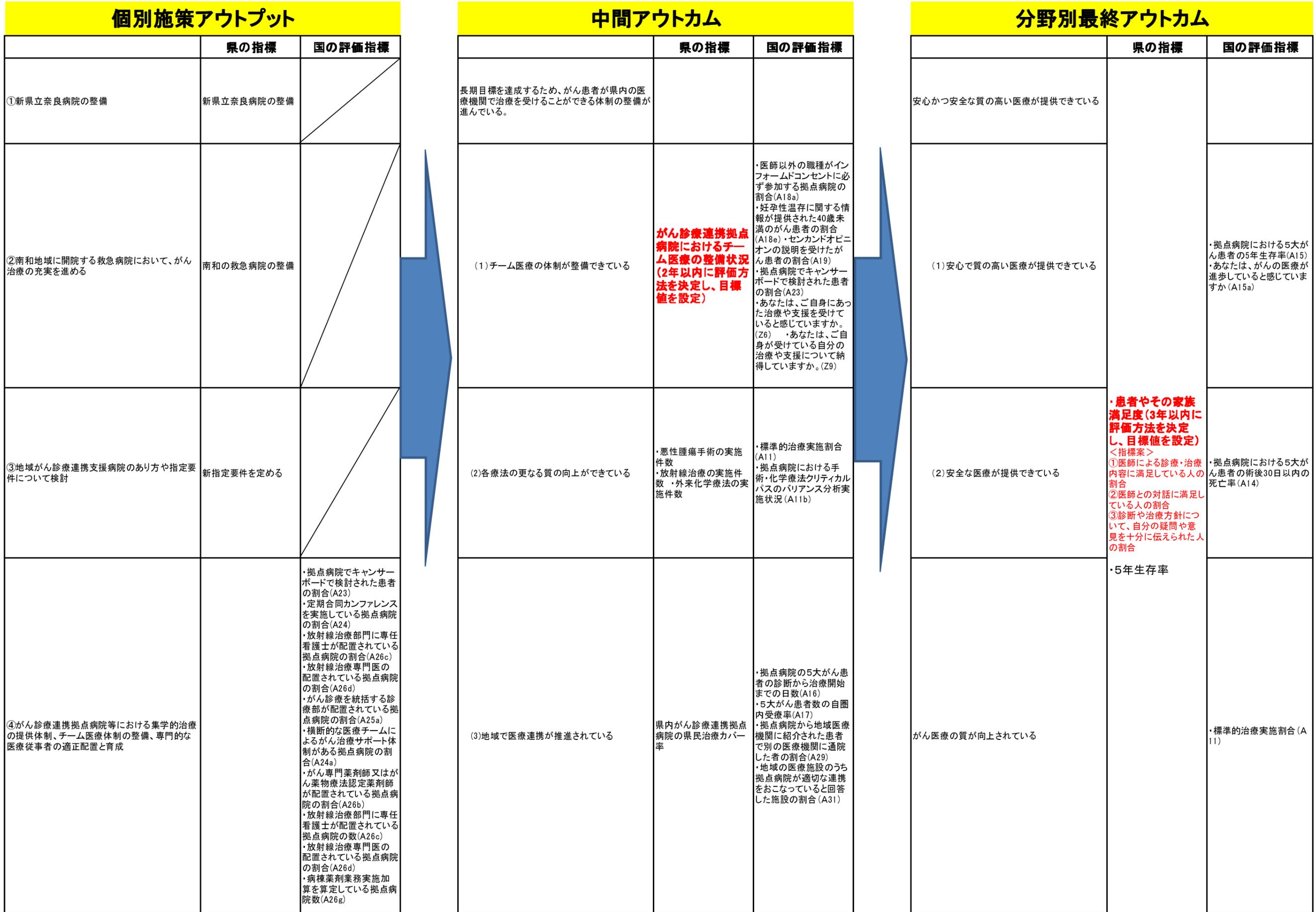


1 がん医療(がん医療の提供)



⑤国立がん研究センターの実施される研修の受講を促進、がん医療に携わる人材の専門性の醸成		
⑥放射線治療について機能分化と病院間の連携を図る		・直線加速器による定位放射線治療加算をとっている拠点病院(A3) ・外来放射線照射診察料をとっている拠点病院の割合(A1)
⑦化学療法について、人材育成の進め方や連携について検討		・外来化学療法加算をとっている拠点病院割合(A9) ・転移・再発5大がん患者の化学療法を内科医が担当している拠点病院の割合(A15)
⑧手術療法の実施体制等について実態把握を進め、必要な施策の検討		
⑨拠点病院と医科歯科連携により、口腔機能管理の充実と推進を図る		・口腔ケアプロトコール整備されている拠点病院の割合(A27)
⑩小児がん患者やその家族への支援のあり方等について検討		
⑪インフォームドコンセントを進め、セカンドオピニオンの体制整備		・セカンドオピニオンの説明を受けたがん患者の割合(A19) ・拠点病院のセカンドオピニオン外来受診件数(A19a)
⑫診療機能、診療実績等の情報提供を進める		

・専門医配置など患者にとってわかりやすく提示できる体制が整備されている		
(4)がん診療に携わる専門医のあり方が整理されている		
(5)地域のがん医療を担う専門の医療従事者の育成が推進されている		・がん化学療法認定看護師が配置されている拠点病院の割合等(A26a) ・がん専門薬剤師又はがん薬物療法認定薬剤師が配置されている拠点病院の数の数(A26b) ・放射線治療部門に専任看護師が配置されている拠点病院の割合(A26c) ・放射線治療専門医の配置されている拠点病院の割合(A26d) ・がん薬物療法専門医が配置されている拠点病院の割合(A26e) ・リハビリテーション科専門医が配置されている拠点病院の割合(A26f) ・病棟薬剤業務実施加算を算定している拠点病院の割合(A26g)

病院の診療機能等について、十分な情報提供を受けている。	患者やその家族満足度(3年以内に評価方法を決定し、目標値を設定)	
-----------------------------	----------------------------------	--